

道徳だより
(6月号)

五月の風 -カナ-

【資料について】

吹奏楽部に所属するカナ。同じ吹奏楽部の友達と小物を買いに待ち合わせをしていたが、待ち合わせ場所の変更が自分だけ知らされていなく待ちぼうけを食う。スマホを持たないと決めていた気持ちがゆらぎ、母親に当たってしまう。夜の五月の風に吹かれ、冷静になったカナはあることを決心する。

ずっと待っていたカナは何を思っただろうか？



仲間外れにされたのかな…
楽しみにしていたのに悲しい。
スマホがあればこんな思いしなくていいのに。
私、ミ力に嫌われることしたかな…

もしカナがスマホを買ってもらっていたらどうなっていたか？

自分で決めたことをすぐあきらめるようになる。

時間の使い方が悪くなる。

スマホに依存してしまう。

すぐ母親に甘えてしまう。

勉強しなくなる。

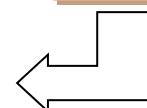


みんなと連絡がとりやすい。

ゲームが自由にできる。

友達を疑わなくてよくなる。

スマホがなくてもできる。



自分で決めたことを守るにはどんなことを大切にすればよいか？

- ・決めるることはできる範囲ものにする
- ・紙に書いて常に意識する
- ・誰かに宣言する
- ・達成する期限を決めておく
- ・自分のためになるか考える
- ・我慢する
- ・強い気持ち
- ・決めたことに責任をもつ
- ・守らなかったときのことを考える
- ・家族や友達に協力してもらう